

# みんなのた場

サークル仲間 129

中島永寿会グランドゴルフクラブ

会話楽しみ足腰の運動  
プレーでストレス解消

パーンという音が、次々と山間の乾いた空気にこだまします。続いて「お、入るんでねえが」「あらあ、全然だめだ」、そんな声も。毎週月、水、金曜の午後2時から、廃校になった飯野川第二小学校の校庭で、中島永寿会グランドゴルフクラブの会員が、元氣いっぱいプレーを楽しんでいます。

傘よりちよつと短いくらいのクラブで、ホールめがけて直径10cmほどのプラスチック製のボールを転がす競技。ゴルフをごく簡単にしようと

「ワンで入ると、これが病みつきになるのよ」と高橋悦子さん(82)。「これやってつから元氣なの。薬なんか飲んでないよ」と屈託がありません。

基本は真剣プレーと和気あいあい。休憩時間には、持ち寄ったお菓子や漬物で話が弾みます。

会長の高橋匡春さんは、最年長の87歳。「みんな幼なじみだし、いろんな話が出るから面白いんだ」と言います。腰の病気で、小さな椅子に腰かけながらプレーする高橋賢助さん(86)は、悦子さんとご夫婦での参加。「4回まわると940mくらい歩くんだ」とすっかりハマっています。

青空の下でのスポーツは密にもならず、ストレス発散でなよりの健康方法と言えそうです。問い合わせは、高橋会長(☎62-0267)まで。



各自マイクラブでプレー



ボールが輪の中に入ったら、あがりになる

## ささえあいセンター通信 ④

### 地域包括ケアの推進体制 ～石巻市地域包括ケア推進協議会～

地域包括ケアシステムを推進する体制の一つとして、石巻市地域包括ケア推進協議会があります。協議会は、保健、福祉、医療、介護、生活支援、地域コミュニティなどに関わる市内の関係者が構成員となっています。

協議会では、地域包括ケアシステムの基本方針として以下の3つを掲げています。

- 1 介護保険制度で設置されている地域包括支援センターの活動を活かした地域包括ケアシステムの推進
- 2 東日本大震災で被災された、仮設住宅などからの転居者に配慮した地域包括ケアシステムの推進
- 3 子どもから高齢者まですべての世代を含めた次世代型の地域包括ケアシステムの推進

協議会は、地域包括ケアに関する研修会を実施しており、市と共催して地域の方々の支え合い活動を推進し、市民主体の地域づくりや支援体制づくりについて考える「地域の支え合いを考える大会」を開催しています。



▲令和元年度 地域の支え合いを考える大会の様子

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、この大会は中止となりましたが、令和元年度は大学教授による基調講演と地域で支え合い活動を行っている団体によるパネルディスカッションを行いました。その中では、声がけなどによる日常的な近所付き合いや顔の見える関係づくりが地域の課題解決や活動の継続に大切であるというお話がありました。

市では、今後も協議会と連携を図りながら、市民の皆さんと協働して地域包括ケアの取り組みを進めていきます。

☎ 包括ケア推進室(内線2572)



石巻市立桜坂高等学校

## 桜坂だより

第21号

こんにちは、桜坂高等学校です。  
今春「石巻市のGIGAスクール構想」に基づき、私たち桜坂高等学校の生徒にも一人1台のタブレットが支給されています。  
早速、タブレットを利用した新しいかたちの学校生活が始まりました。



### 5月20日 第1回生徒総会

コロナウイルス対策として、今年も生徒総会は各教室の放送により開催されました。

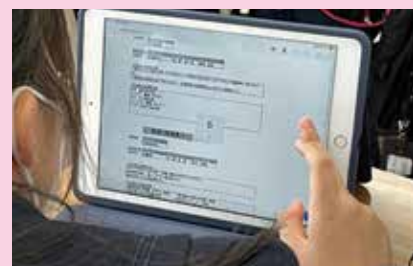
「タブレットに慣れる+ペーパーレス」を目的として、生徒総会の資料をタブレットで確認することにしました。



高校生が公費で一人1台のタブレットを利用できるのは、宮城県内の公立高校では私たち桜坂高校だけなんです。



これからは、タブレットを利用した授業や課題提出もできるようになるそうです。





# Topic of town まちの話題



## 河北 避暑地でのびのび健康に

上品山牧場・繁殖牛入牧

市営上品山牧場で5月21日、恒例となっている牛の放牧が始まりました。繁殖牛の妊娠、出産に向けた健康作りが目的で、今年は29頭の黒毛和牛が入牧。体重測定や採血、予防接種などを行った後、広大な牧草場に放たれました。牛たちは夏の間のびのびと過ごし、秋の深まる10月末に山を下ります。



## 雄勝 道の駅登録記念イベント「おがつ縁日」

金魚すくいや射的など

道の駅「硯上の里おがつ」の登録記念イベント「おがつ縁日」が5月1日～5日に雄勝観光物産交流館で開催されました。会場ではコロナ対策も徹底されており、物産販売では、直売所で販売している商品を詰め合わせた福袋の販売も行われ、イベント初日から多くの来場者が足を運んでいました。その他にも縁日コーナーが設けられ、子どもたちが金魚すくい、射的や輪投げを楽しんでいました。



## 石巻 旬の食材をふんだんに

「i感謝膳」お披露目会

震災復興への感謝を込めたイベント「i感謝膳」の関連イベントで、市内の飲食店が特別メニューを提供する「i感謝膳」のお披露目会が5月25日にかわまち交流センターで開催されました。6、7月のシーズンはホヤやウニ、クジラ、アナゴなど旬の食材を使ったメニューを各店舗が考案。関係者らにお披露目され、試食では食材の魅力を存分に引き出した味わいに舌鼓を打ちました。



## 河南 手植えで体験 地域の産業

鹿又小児童が田植え

鹿又小学校の5年生(57人)が5月14日、学区内の中山揚水機場近くの水田で田植えを体験しました。はだして田んぼに入った児童はぬかるむ足場に声を上げながら、1人12株を手植えしていききました。地域の産業や社会とのつながりを学ぶ「志教育」の一環で、地元との協力をもらいながら20年ほど続けている体験学習です。稲は秋に自分たちで収穫し、実際に味わう予定です。



## 桃生 仲良く楽しく優雅に演奏

琴城流大正琴桃生愛好会

琴城流大正琴桃生愛好会は、平成5年から活動を続けています。女性5人が毎月第2、4月曜日に桃生総合支所で練習しており、全国発表会で東京のNHKホールで演奏したこともあります。現在は、コロナ禍でイベントも開けませんが、それでも鈴木琴和喜教授の指導で、「素敵なランデブー」など昭和歌謡に取り組んでいます。



## 北上 手作業でもち米苗を丁寧に

北上小3年生 農業学習

北上小学校の3年生13人が5月26日、北上町女川の水田で田植えを行いました。農業学習の一環として毎年催されており、今年もち米「みやこがね」の苗を手作業で植えました。子どもたちは「泥が気持ちいい」「もっと植えたい」と元気いっぱいに農作業を楽しみました。秋には収穫も行い、餅にしてみんなで味わいます。

